

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

情報連絡事項	頁
(1) SNSフォトチャレンジ「#エコアダチやってみた」の実施結果について	2
(2) 「第15回あだち環境かるた大会」の実施結果について	2
(3) 「小・中学校環境学習出前講座」令和5年度実施について	3
(4) 「クールビズ」の実施について	4
(5) 令和4年度 あだちSDGs映画祭の実施結果について	5
(6) 令和5年度「あだち生きもの図鑑をつくろう！」について	6
(7) 小学生鋸南自然教室における環境学習プログラムについて	7
(8) 中学生魚沼自然教室における新環境学習プログラムについて	9
(9) 廃棄物管理責任者講習会の実施結果について	10
(10) リサイクル見える化事業の実施結果について	11

(環境部)

産業環境委員会情報連絡一覧表

令和5年3月13日

件名	内容	日時及び場所	PRの方法
<p>1 SNSフォトチャレンジ「#エコアダチやってみた」の実施結果について</p> <p>所管課 【環境政策課】</p>	<p>1 目的 環境問題について考える機会の創造とその対策方法を周知することにより、区民の意識向上と行動変容を図る。</p> <p>2 内容 エコな暮らしの様子やエコグッズを写真に撮り、SNSで投稿。応募者の中から抽選で記念品を贈呈する。</p> <p>3 応募数 90点</p> <p>4 主な作品</p> 	<p>1 応募受付期間 令和4年12月1日（木）～ 令和5年2月28日（火）</p>	<p>区広報紙 ホームページ SNS 写真サークルへの案内</p>
<p>2 「第15回 あだち環境かるた大会」の実施結果について</p> <p>所管課 【環境政策課】</p>	<p>1 目的 楽しみながら環境を学び、環境行動の実践につなげていく。</p> <p>2 対象 区立小学校1～6年生 ※ 前年度参加できなかった6年生（現中学1年生、希望者）を招待</p>	<p>1 日時 令和5年1月22日（日）</p> <p>2 場所 区立島根小学校 体育館</p>	

<p>3 「小・中学校環境学習出前講座」令和5年度実施について</p> <p>所管課 【環境政策課】</p>	<p>3 参加者数 165人(60校) ① 低学年：83名 ② 高学年：76名 ③ 中学生：6名</p> <p>4 結果 【低学年の部】 優勝：栗原小 2年 準優勝：大谷田小 3年 第3位：千寿第八小 1年 【高学年の部】 優勝：栗原小 6年 準優勝：千寿第八小 4年 第3位：古千谷小 4年 【中学生の部】 優勝：第一中 1年 準優勝：蒲原中 1年 第3位：東綾瀬中 1年</p> <p>1 概要 (1) 講座について(予定) 【メニュー数】 小学校：13 中学校：10 【主な新規講座メニュー】 ①「その紙ってどこからきたの？私たちから環境を変えていく！」 ②「SDGsって??」 (2) 募集について 2月に区立小・中学校に対して希望調査</p>	<p>1 実施日時(予定) 令和5年4月～ 令和6年3月</p>	<p>区立小・中学校への通知</p>
--	---	---	--------------------

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	「クールビズ」の実施について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>地球温暖化対策及び気候変動適応策として、以下のとおり「クールビズ」を実施する。</p> <p>1 対象 全ての区施設</p> <p>2 実施期間 令和5年5月1日（月）～10月31日（火） ※ 終了時期は気温等により変更する場合あり</p> <p>3 環境省の「クールビズ・ウォームビズ」の考え方 (1) 令和3年度からは具体的な実施期間は各企業・団体に委ねる。 (2) 冷暖房の適切な温度設定など、CO₂排出削減の呼び掛けは続ける。</p> <p>4 取組内容 (1) 冷房時の室温は28℃を目安に設定 (2) 職員の軽装での執務 (3) 区民への協力の呼びかけ</p> <p>5 区民等への周知 (1) 区施設にポスター掲示 (2) ミニのぼり旗の区施設カウンター等への設置 (3) あだち広報、区ホームページおよびSNS</p>
問題点 今後の方針	クールビズは過度な冷房を抑制する目的で行うものであることから、区民等には、熱中症予防に配慮しながらの実践を呼びかける。

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	令和4年度 あだちSDGs映画祭の実施結果について																				
所管課	環境部環境政策課																				
内容	<p>環境分野を中心にSDGsについて区民に広く普及啓発するため、「あだちSDGs映画祭」を開催したため、実施結果を報告する。</p> <p>1 日時 令和5年1月7日（土） 第1回上映 10時～ 作品『ロラックスおじさんの秘密の種』 第2回上映 12時30分～ 作品『ハッピーフィート』 第3回上映 15時20分～ 作品『シーズンズ 2万年の地球旅行』</p> <p>2 開催場所 竹の塚地域学習センター 4階ホール</p> <p>3 来場者数 事前申込各回100人のところ『ロラックスおじさんの秘密の種』と『ハッピーフィート』は定員を超える応募があり、抽選を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="427 1043 1417 1473"> <thead> <tr> <th>上映回</th> <th>当選者数</th> <th>来場者数</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>100人 (30組)</td> <td>70人 (22組)</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>100人 (32組)</td> <td>64人 (23組)</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>69人 (30組)</td> <td>36人 (15組)</td> <td>52%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>269人 (92組)</td> <td>170人 (60組)</td> <td>63%</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 アンケート結果 ① 各映画について「よかった」との回答を選択した人が最も多かった。 ② SDGsについて、言葉も意味も知っているとの回答が最も多かった。 ③ 自由意見では「SDGsについてもっと知りたくなった」「環境について親子で考えるきっかけになった」「機会があればまた見たい」など、好評であった。</p> <p>5 感染症防止対策 感染症防止対策として、受付にアクリル板と消毒液を設置し、検温を実施した。座席は組ごとに一席分の間を空けた形での指定席とした。</p>	上映回	当選者数	来場者数	参加率	第1回	100人 (30組)	70人 (22組)	70%	第2回	100人 (32組)	64人 (23組)	64%	第3回	69人 (30組)	36人 (15組)	52%	合計	269人 (92組)	170人 (60組)	63%
上映回	当選者数	来場者数	参加率																		
第1回	100人 (30組)	70人 (22組)	70%																		
第2回	100人 (32組)	64人 (23組)	64%																		
第3回	69人 (30組)	36人 (15組)	52%																		
合計	269人 (92組)	170人 (60組)	63%																		
問題点 今後の方針	来場者アンケートでは、映画祭について好評であったため、今後も開催を検討する。今後は当選者の当日キャンセル防止策として、リマインドメール等を送ることを検討する。																				

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	令和5年度「あだち生きもの図鑑をつくろう！」について
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>令和5年度「あだち生きもの図鑑をつくろう！」について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施内容 スマートフォンアプリを活用した区民参加型の大規模生きもの調査を実施。アプリに撮影・投稿されたデータをまとめてオリジナル図鑑を作成し、広く区民に周知する。</p> <p>2 実施期間 春編 4月 1日（土）～5月10日（水） 夏編 7月21日（金）～8月31日（木）</p> <p>3 投稿者数の目標値 合計1,500人（令和4年度目標：700人 実績：1,490人） ※ 春編・夏編の合計人数を目標値とする。</p> <p>4 主な周知方法 （1）小・中学校、幼稚園、保育園等へのチラシ配布 （2）あだち広報特集ページ等の掲載 （3）アプリ利用者へのプッシュ通知と区SNSでの情報発信 ※ アプリ事業者からのSNS発信もあり</p> <p>5 アプリの機能拡充について 事業者がアプリ内のマップ機能拡充を予定。夏編のクエスト開始に合わせてリリースできるように調整中。</p>
問題点 今後の方針	<p>① 本予算が可決された際には、投稿者数の目標値達成に向けて、情報発信を強化する。</p> <p>② 年2回（春と夏）クエストを実施した結果、春から夏に継続して参加した人が3割程度いた。今後も事業を年2回実施し、「足立区だけの生きもの図鑑」シリーズとして継続していく。</p>

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	小学生鋸南自然教室における環境学習プログラムについて
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>鋸南自然教室の中で実施できるプログラムについて、教育委員会と協議のうえ、環境学習推進アドバイザーと検討した結果、以下のとおり進めていくため報告する。</p> <p>1 目的 鋸南町の自然を活用し、環境に関する課題に触れることにより、美しい海を未来に残すことや持続可能な社会の在り方について考え、環境問題への意識を醸成する。</p> <p>2 内容 海洋教育、SDGsの視点を取り入れた約半日間のプログラム(6種類) 【プログラム例】(別紙1参照) ① 漁業で働く人々のしごとに密着体験(保田漁港) ② ビーチコーミング&マイクロプラスチック調査(岩井海岸) ③ フォトテーリング(大房岬自然公園) ④ マリンアクティビティ(岩井海岸) ※ 学校の希望で複数選択も可能 ※ 現地での体験に加え、事前・事後学習あり</p> <p>3 実施校 希望する小学校: 20校程度 対象学年: 5年生</p> <p>4 連携先 支援: 日本財団「海と日本プロジェクト」 実施: (株)アクトインディ</p> <p>5 プログラム参加費 児童一人あたり1,000円程度</p> <p>6 今後のスケジュール(予定) 4月 鋸南自然教室引率主任実地踏査で案内・募集 5月~12月 実施校決定、プログラム実施 ※ プログラム後アンケートを実施し、振り返りを行う。</p>
問題点 今後の方針	教育委員会、関係機関と連携し進めていく。

令和5年度プログラム例

プログラム名	ねらい・内容	
① 漁港で働く人々のしごと に密着体験（保田漁港）	<p>【ねらい】 普段食べている魚が多くの人々の仕事によって届けられていることを知る。馴染みのない多種多様な魚が身近な海で水揚げされていることに気づく。</p> <p>【内容】 漁港を見学し、水産の仕事、水産物の流通を学ぶ。実際の魚に触れて好奇心をもつ。</p>	 <p>(入札見学、魚の選別体験の様子)</p>
② ビーチコーミング&マイクロプラスチック調査 （岩井海岸）	<p>【ねらい】 海洋ごみの現状を学び、その実態を肌で感じるにより当事者意識が芽生える。</p> <p>【内容】 砂浜の漂着物を探し、拾ったプラスチックごみなどを調査する。</p>	 <p>(貝殻やプラスチックを見つける様子)</p>
③ フォトテーリング （大房岬自然公園）	<p>【ねらい】 様々な自然環境に触れて、海と森の繋がりや生態系を知る。仲間と課題解決に取り組むことで、自主性や協調性を身につける。</p> <p>【内容】 砂浜の漂着物を探し、拾ったプラスチックごみなどを調査する。</p>	 <p>(班で協力し、地図を見ながらミッションに挑戦する様子。 右の写真ははたカラガイを拾う様子。)</p>
④ マリンアクティビティ （岩井海岸）	<p>【ねらい】 海で遊ぶ楽しさ、不思議さ、面白さなどに気づき、海への興味・関心を高める。海を正しく理解することで海との安全な付き合い方を知る。</p> <p>【内容】 海の中を歩くなど、波や砂地の感覚を実感しながら、漂流物や塩の満ち引きなどに気づく。</p>	 <p>(ニッパーボードの体験)</p>

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	中学生魚沼自然教室における新環境学習プログラムについて
所管部課名	環境部環境政策課
内容	<p>中学生魚沼自然教室の中で実施できるプログラムについて、教育委員会と協議し、令和5年度より新たな取組を進めていくため以下のとおり報告する。</p> <p>1 目的 新潟県魚沼市の豊富な森林資源を活用し、環境に関する課題に触れることにより、森林の機能や持続可能な社会の在り方について考え、環境問題への意識を醸成する。</p> <p>2 内容 (1) 森林作業体験等（約半日間） 【プログラム例】 ① 除間伐作業体験 ② 炭焼き体験 ③ カーボンオフセットの解説 (2) 尾瀬の自然体験学習（1日間） ※ ワークシートによる事前、事後学習も含む。</p> <p>3 対象校 希望する中学校 5校程度</p> <p>4 連携先 一般社団法人 魚沼市観光協会</p> <p>5 費用 プログラム内容が決まり次第生徒の参加費を決定し、事業実施にあたり不足分を区で補助する。</p> <p>6 今後のスケジュール（予定） 4月 各学校に案内・募集開始 5月～10月 実施校決定、プログラム実施 ※ プログラム後アンケートを実施し、振り返りを行う。</p>
問題点 今後の方針	教育委員会、関係機関と連携し進めていく。


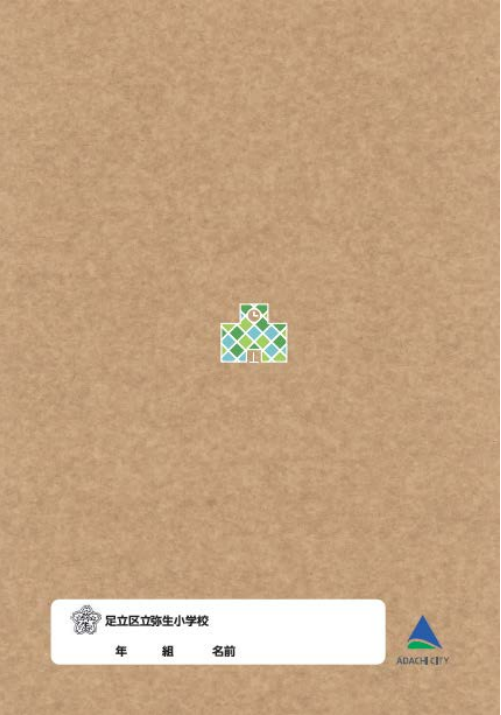
産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	廃棄物管理責任者講習会の実施結果について
所管部課名	環境部ごみ減量推進課
内容	<p>延床面積1,000㎡以上の大規模事業所を対象に実施した「廃棄物管理責任者講習会」の結果について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 実施日時 令和5年1月23日（月）から令和5年2月28日（火）まで</p> <p>2 講習会形式 区ホームページ及び動画視聴を利用した自主学习</p> <p>3 修了条件 講習確認問題の解答をホームページの電子申請フォームまたは郵送により提出すること</p> <p>4 受講者数 178名</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 講習確認問題の解答を提出した受講者には修了証を交付する。 ② 受講者を増やすため、対面開催とWeb開催の併用等、次年度以降の実施方法を検討する。 ③ 講習内容及び受講方法について受講者からアンケートをとり、次年度以降の改善につなげる。
問題点 今後の方針	令和4年度の実講状況を確認し、令和5年度以降の講習会実施方法等について検討する。

産業環境委員会情報連絡

令和5年3月13日

件名	リサイクル見える化事業の実施結果について						
所管部課名	環境部ごみ減量推進課						
内容	<p>古紙の再資源化の促進を図るため、児童がリサイクルの流れを体感する「リサイクル見える化事業」について実施結果を報告する。</p> <p>1 古紙の回収およびノートの作成について</p> <p>(1) 古紙の回収</p> <p>ア 事業期間 令和4年9月16日～令和5年3月24日</p> <p>イ 実施校 区立弥生小学校</p> <p>ウ 事業者 凸版印刷株式会社</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="435 891 938 1603" style="text-align: center;">  <p>おもて表紙</p> </div> <div data-bbox="954 891 1457 1603" style="text-align: center;">  <p>裏表紙</p> </div> </div> <p>(2) 実施内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">令和4年10～12月</td> <td>教室等で児童がプリント等の古紙を収集</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月23日</td> <td>区立弥生小学校で集められた古紙を回収し、古紙再生工場に搬入された。</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月27日</td> <td>古紙が搬入された工場のリサイクル原料等を使用して作成したノートを区立弥生小学校の全児童（533名）に寄贈した。</td> </tr> </table>	令和4年10～12月	教室等で児童がプリント等の古紙を収集	令和4年12月23日	区立弥生小学校で集められた古紙を回収し、古紙再生工場に搬入された。	令和5年2月27日	古紙が搬入された工場のリサイクル原料等を使用して作成したノートを区立弥生小学校の全児童（533名）に寄贈した。
令和4年10～12月	教室等で児童がプリント等の古紙を収集						
令和4年12月23日	区立弥生小学校で集められた古紙を回収し、古紙再生工場に搬入された。						
令和5年2月27日	古紙が搬入された工場のリサイクル原料等を使用して作成したノートを区立弥生小学校の全児童（533名）に寄贈した。						

2 古紙のリサイクル体験

小学生を対象として古紙（コピー用紙等）を使ってリサイクルを体験する手すきはがき作り講座を実施した。

(1) 日時・場所

令和5年2月4日（土） あだち再生館

(2) 講師

公益財団法人古紙再生促進センター

(3) 参加者

14名（うち保護者6名）

- ・ 1年生 1人
- ・ 2年生 4人
- ・ 4年生 3人

(4) 感想

- ① いつも捨てている紙ではがきを作れることを初めて知った（2年生）
- ② （はがき作りを通して）紙のリサイクルについて知り、協力したいと思った（4年生）
- ③ 実際の生活の中で、ラップの芯やお菓子の箱等、子どもと一緒に分別してみようと思った（保護者）



使用済みのコピー用紙をミキサーで溶かし、紙すきキットではがきを作成

問題点 今後の方針

令和5年度も引き続き実施することとし、リサイクル体験については、授業の中で実施できるよう、学校と調整を行っていく。

令和4年度、5年度の実施結果を踏まえ、令和6年度以降、他校への展開について検討を進めていく。